

母校あねこれ



●「全国農業担い手サミットinやまがた」で農林大学校生が活躍しました●平成30年11月7～9日に、全国各地から約二千百人の参加者をお迎えして当サミットが開催されました。山形市の「山形国際交流プラザ(山形ビッグウイング)」での全体会

では、皇太子殿下に御臨席いただき、全国優良経営体表彰や担い手メッセージ、パネルトークが行なわれました。担い手メッセージでは、優良経営体として表彰された3名による今後の目標や農業経営に関する発表に続き、将来の本県農業の担い手代表として

め、表彰式の補助や受賞者の誘導を行いました。また、本県自慢の農畜産物を振舞うグルメコーナーでは、18名の学生がスタッフとして活動しました。全体会の最後には、当日参加した学生が皇太子殿下をお見送りしました。ここで殿下からお声がけをされていた学生にとつては、記念すべき出来事となりました。●東日本・全国農業大学校等プロジェクト発表意見発表会で上位入賞●平成31年1月16～17日、当発表会が青森県七戸町で開催されました。6道県の農業大学校から選出された、意見発表12名、プロジェクト発表18名の学生が、将来の夢や農業にかける思い、卒業論文の研究で得られた成果等を発表しました。意見発表の部には本校から2名が出席し、果樹経営学科1年の菊地美桜さんが「My dream is to be a farmer」と地域つな



なごるりんご農家を目指して」と題して発表し、優秀賞を受賞しました。これまで、りんごを通して多くの人とつながってきたことを大切にしながら、卒業後は就農して、雪に強い「朝日ロンパス栽培」を導入し、地元・朝日町のりん

ごを食べた人が笑顔になるようなりんご農家を目指したい」と決意を述べました。また、プロジェクト発表の部には3名が出席し、畜産経営学科2年の佐藤綾音さんの「緑茶粕発酵飼料を用いた乳牛の分娩間隔短縮による収益の向上」に関する研究が優秀賞に輝きました。緑茶粕の調製技術に改良を重ねて飼料を製造し、適切な給与量を明らかにしました。これにより、乳牛の分娩間隔が短縮され、乳量・乳脂肪率が向上しました。この技術については特許出願しています。また、この飼料は商品化され、販売されることになりました。入賞した2名は東日本プロジェクトの代表として、2月14～16日に開催された全国大会に出席し、佐藤綾音さんが、栄えある「最優秀賞・農林水産大臣賞」に輝きました。●森林林業技術交流発表会で成果発表●平成31年1月31日、2月1日に東北森林管理局主催で森林林業技術交流発表会が開催されました。本校からは林業経営学科2年藤倉剛樹さんが卒業論文の成果として「林地の生産力に応じた効率的な木材生産のためのゾーニングに関する考察―スギ造林地における指



標植物を活かした森林施策の検討―」について発表しました。この発表会は森林管理署・市町村や県の職員のほか、大学生、高校生などが東北地方の森林・林業分野の研究成果や実践等について発表するものです。参加した林業経営学科2年生10名は森林・林業・木材産業等の活性化等を促進するための諸課題に対する取り組みについて情報交換や意見交換を行いました。

お知らせ

★同窓生の各種証明書申請手続き★カミングレター(近況)
農大ホームページ <http://ynodai.ac.jp/>

「地域・卒業生の皆様へ」をご覧くださいお手続きください。ホームページをご覧くださいない場合は、電話でも御案内いたします。

☆同期会助成金☆
同期会を開催する場合、同窓会より助成金として1万円を支給します。

☆農大市場出店・トライアル販売☆
参加を希望される方は御連絡ください。

【いずれも連絡・申込は・・・】山形県立農林大学校同窓会事務局
電話：0233 (22) 1527 FAX：0233 (23) 3119

標植物を活かした森林施策の検討―」について発表しました。この発表会は森林管理署・市町村や県の職員のほか、大学生、高校生などが東北地方の森林・林業分野の研究成果や実践等について発表するものです。参加した林業経営学科2年生10名は森林・林業・木材産業等の活性化等を促進するための諸課題に対する取り組みについて情報交換や意見交換を行いました。



同窓会ホームページ

<http://ynodai.com/>

山形県立農林大学校同窓会

検索

農林大学校映像紹介

農大を上空からドローンで撮影した、紹介動画が公開されています。農大の広大な敷地はもちろん、各学科紹介の映像も見どころです。こちらのQRコード、もしくは農大HPからアクセスして、農大の懐かしい風景をぜひご覧ください。

